

## 夢を叶えた先輩たちのレポート

こんにちは。当院で初期研修を行った私が、当院での研修の魅力を紹介したいと思います。

まず、全体的な研修内容についてですが、必修科目や選択科目などの大きな研修予定はありますが、選択期間が非常に長く、自分の進路や希望によってスケジュールを組むことが可能です。また、1学年の研修医が3~4名程度と少人数なので多くの症例が経験でき、挿管やCVカテなど研修医として身に付けておきたい基本手技は十分な数が実践できます。

さらに当院研修の魅力は、このような手技的な面だけではありません。当院の研修医は、何も考えることなく単に指導医が指示した処方や検査のオーダーをするのではなく、研修医が主治医となり、自分で考えて指導医に相談しながら、その患者さん一人一人にあっさり細やかな医学的管理を実践して、『外来から入院へ』、そして『入院から外来フォローへ』と、連続した治療計画を立てていきます。これは、医師としてのベースとなる力量を養うといった点において最適な環境であると考えています。

また当院は指導医の先生だけでなく、コメディカル、事務の方等病院スタッフみんなで研修医を育てようとしてくれる、すごくあたたかい雰囲気があります。

その他にも、実際に見てみないとわからない魅力がたくさんありますので、ぜひ一度見学にいらしてみてください。

また当院での見学時には、必ず研修医と1対1で話す時間を設けています。当院研修医の生活に少しでも興味や疑問がありましたら、そこでまた色々とお話ししましょう。病院見学を心よりお待ちしております。

研修  
修了者  
男性



研修医  
2年目  
男性

当院では研修医が主治医となります。例えば救急外来で自分が診療した患者さんが入院になったとしたら、その後も自分が主治医として、指導医の先生に逐一指導を頂きながら、患者さんやご家族と共に治療方針を決め、病気を治し、退院へ導く…ここまで全てに関わることがしばしばあります。これは研修規模が大きすぎることなく、自由度の高い、また自主性を重んじ基礎力を培っていきける風土を持つ当院研修プログラムの特徴と言えます。救急外来に張り付いて病棟での仕事がほとんどないという研修病院もあるなか、この初期研修医時代の経験は、大きな糧となることでしょう。

私が当院を研修先に選んだのは、救急外来での仕事を学びつつ、一方でそれだけに忙殺されることなく、主治医として病棟業務、患者さんやご家族との接し方、基本手技等様々なことがバランスよく学べると感じたからです。また三重県は、MMCプログラムが充実しているため、希望の専門科への院外研修が幅広く可能であり、2年間を総合的にみるとどの病院よりもムラのない充実した研修が出来ると思います。

しかし当院の研修プログラムは自由度が高い分、やる気や自主性、積極性が大切となります。やる気があればローテートにとらわれず参加することが可能で、どこまでもスキルが伸びていきけるそんな風土です。

私は当院で医師としてのスタートを切ることが出来てお世辞抜きでよかったと思っています。辛い経験をする但也有りますが、毎日充実した研修生活を送っています。

研修医の  
ある一日

7:50 出勤 ----- 8:00 消化器内科カンファレンス ----- 8:30 病棟回診 -----  
9:00 内視鏡検査・エコー検査 ----- 12:00 昼食 ----- 13:30 内視鏡検査・内視鏡的治療 -----  
15:00 救急患者診察 ----- 16:00 指導医と病棟回診 ----- 17:30 退勤